

読んで字のごとく、世に出ることをいう。仏教での^{シュツセ}出世には大まかにいって二つの意味があり、その第一は、仏が大衆を救うためにこの世に出現なされることをいい、第二は世間的なものを超えること、即ち、^{センゾク}世俗を捨てて^{ブツドウ}仏道に入ること（^{シュツケ}出家）をいった。

このような「出世」本来の意味から、^{ソウリョ}僧侶が高い位に昇ることや、住職になって寺院に住むことにかわっていき、現在では、世の中にでて立派な地位、身分になることを、「出世した」といわれるようになってきた。

この世に生をうけた以上、「身を立て、名をあげ」することはわれわれ凡人の^{ボンジン}誰しもの願いである。だから出世の為に手段を選ばず、出世欲を競う人もでてくる。しかし、出世とは、大衆の救済にあることを忘れないで欲しい。出世しようと思う人は、世の為人の為に働き尽くす覚悟が必要である…。